



住宅購入検討層の73.4%が物価高の影響を実感 「予算見直し」や「購入延期」の声も

価格重視でも「間取り」「住宅性能」は譲れない 住宅購入意識調査

株式会社アイダ設計（本社：埼玉県上尾市、代表取締役社長：會田 貞光）は、「物価高や建築資材の高騰が住宅購入の検討に与える影響」について、住宅購入を検討している、または過去に検討した経験のある20代～70代の男女を対象に調査を実施しました。

近年、物価上昇や建築資材価格の高騰が続き、住宅価格にも影響が及んでいます。住宅購入を検討する人にとっては、予算計画の見直しや購入時期の判断など、これまで以上に慎重な検討が求められる状況となっています。一方で、住宅は長く暮らすための大切な基盤であり、価格だけでなく、性能や間取り、暮らしやすさも重視したいと考える人は少なくありません。

そこで今回、株式会社アイダ設計は、住宅購入を検討している、または過去に検討した経験のある20代～70代の男女を対象に、「物価高や建築資材の高騰が住宅購入の検討に与える影響」に関する調査を実施しました。

調査概要：「物価高や建築資材の高騰が住宅購入の検討に与える影響」に関する調査

【調査期間】2026年5月12日

【調査方法】イベント来場者へのアンケート調査

【調査人数】221人

【調査対象】住宅購入を検討している、または過去に検討した経験のある20～70代の男女

※本リリースの調査結果をご利用いただく際は、「株式会社アイダ設計 調べ」とご明記ください。

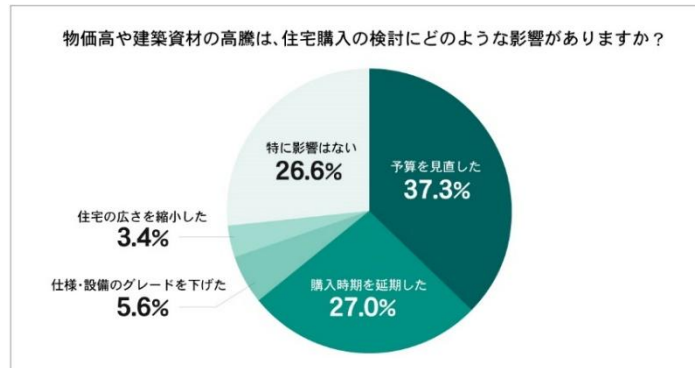
【報道関係者 お問い合わせ】

アイダ設計 販売促進部 担当：後藤、小川

E-mail：hanbai-kikaku@aidagroup.co.jp TEL：050-3173-2546

■住宅購入検討者の73.4%が物価高の影響を実感

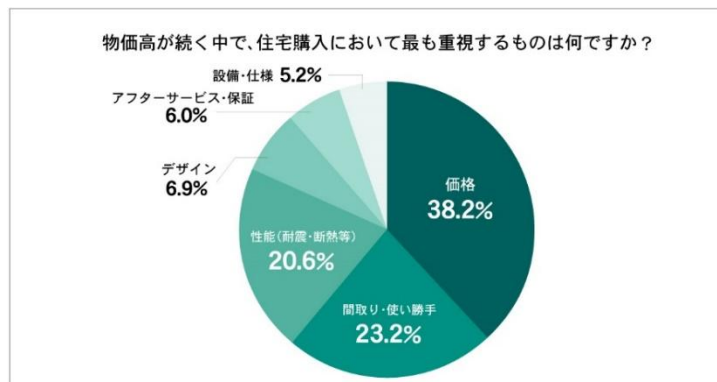
「物価高や建築資材の高騰は、住宅購入の検討にどのような影響がありますか」と尋ねたところ、『予算を見直した（37.3%）』『購入時期を延期した（27.0%）』『特に影響はない（26.6%）』『仕様・設備のグレードを下げた（5.6%）』『住宅の広さを縮小した（3.4%）』と続きました。



全体の73.4%が何らかの影響を受けており、物価高や建築資材価格の高騰が住宅購入の計画や意思決定に影響を与えていることがうかがえます。

■住宅購入で最も重視するのは「価格」

続いて、「物価高が続く中で、住宅購入において最も重視するものは何ですか」と尋ねたところ、『価格（38.2%）』が最も多く、『間取り・使い勝手（23.2%）』『性能（耐震・断熱等）（20.6%）』『デザイン（6.9%）』『アフターサービス・保証（6.0%）』『設備・仕様（5.2%）』となりました。



住宅価格の上昇を背景に、価格を重視する人が最も多い結果となりました。一方で、間取りや住宅性能を重視する回答も多く、価格だけではなく、暮らしやすさや安心感も重視されていることがうかがえます。

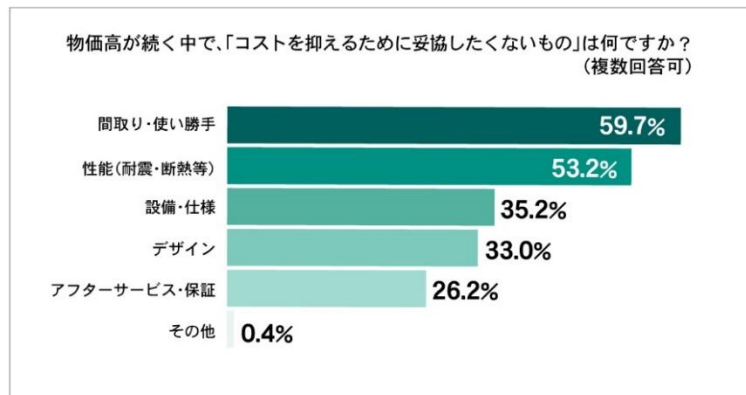
【報道関係者 お問い合わせ】

アイダ設計 販売促進部 担当：後藤、小川

E-mail : hanbai-kikaku@aidagroup.co.jp TEL : 050-3173-2546

■価格重視でも、妥協したくないのは「間取り」と「住宅性能」

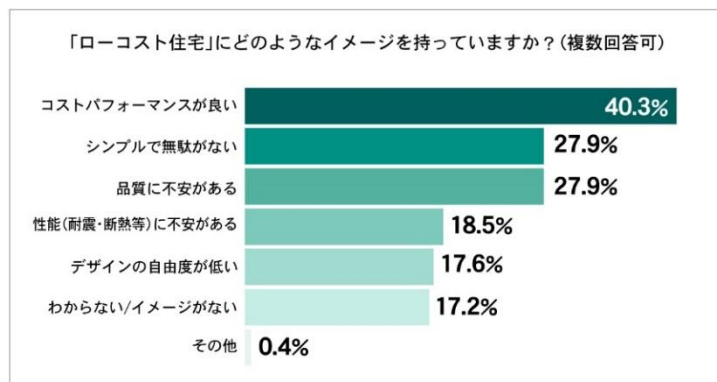
一方で、「物価高が続く中で、『コストを抑えるために妥協したくないもの』は何ですか（複数回答可）」と尋ねたところ、『間取り・使い勝手（59.7%）』が最も多く、『性能（耐震・断熱等）（53.2%）』『設備・仕様（35.2%）』『デザイン（33.0%）』『アフターサービス・保証（26.2%）』となりました。



住宅購入では価格を重視する人が多い一方で、コストを抑える場合でも、日々の暮らしに直結する間取りや使い勝手、住宅性能については妥協したくないと考える人が多いことがわかりました。

■ローコスト住宅に対するイメージは「コストパフォーマンスが良い」が最多

住宅価格の上昇が続く中、価格を抑えた住宅への関心も高まっています。そこで、「『ローコスト住宅』にどのようなイメージを持っていますか（複数回答可）」と尋ねたところ、『コストパフォーマンスが良い（40.3%）』が最も多く、『シンプルで無駄がない（27.9%）』『品質に不安がある（27.9%）』『性能（耐震・断熱等）に不安がある（18.5%）』『デザインの自由度が低い（17.6%）』『わからない・イメージがない（17.2%）』という結果になりました。



ローコスト住宅に対しては、コストパフォーマンスの高さや合理性を評価する声がある一方で、品質や性能に不安を感じる人も一定数見られました。価格を抑えた住宅であっても、暮らしやすさや安心感が求められていることがうかがえます。

【報道関係者 お問い合わせ】

アイダ設計 販売促進部 担当：後藤、小川

E-mail : hanbai-kikaku@aidagroup.co.jp TEL : 050-3173-2546

【まとめ】価格を重視しながらも、間取りや暮らしやすさは妥協したくない傾向に

今回の調査では、物価高や建築資材価格の高騰によって、住宅購入の計画や予算に影響を受けている人が多いことが明らかになりました。実際に、73.4%が予算の見直しや購入時期の延期など何らかの影響を受けていると回答しています。

一方で、住宅購入において最も重視するものは「価格」が最多となったものの、「間取り・使い勝手」や「性能（耐震・断熱等）」を重視する回答も多く、価格だけでなく、住みやすさや暮らしやすさとのバランスを求める傾向がうかがえました。

また、ローコスト住宅に対しては「コストパフォーマンスが良い」というイメージが最も多かった一方で、品質や性能に不安を感じる声も見られました。

アイダ設計では、このようなニーズに応える住まいとして、建物本体価格999万円（税込）から建築可能な注文住宅商品「999万円の家」を提供しています。価格を抑えながらも、住宅としての基本性能と暮らしやすさを備え、自由設計に対応し、ライフスタイルや家族構成に合わせた住まいづくりを実現できる商品として提案しています。

物価高が続く中でも、住宅取得のハードルを下げ、一人でも多くの方が住まいの夢を実現できるよう、今後も商品・サービスの提供に取り組んでまいります。



「999万円の家」モデルハウス



「999万円の家」モデルハウス

【報道関係者 お問い合わせ】

アイダ設計 販売促進部 担当：後藤、小川

E-mail : hanbai-kikaku@aidagroup.co.jp TEL : 050-3173-2546

<会社概要>

社 名 : 株式会社 アイダ設計
本社所在地 : 〒362-0047 埼玉県上尾市今泉三丁目10番地11
電 話 : 050-3100-2611 (代)
代 表 者 : 代表取締役社長 會田 貞光
株 式 : 東京証券取引所 TOKYO PRO Market (証券コード:2990)
創 立 : 1981年1月6日
資 本 金 : 1億円
従 業 員 数 : 1,029人 (2025年3月31日時点)
事 業 内 容 : 不動産業・建設業・建築設計・土地造成・プレカット加工・損害保険代理業 他
U R L : <https://www.aidagroup.co.jp/>

【報道関係者 お問い合わせ】

アイダ設計 販売促進部 担当：後藤、小川

E-mail : hanbai-kikaku@aidagroup.co.jp TEL : 050-3173-2546
